

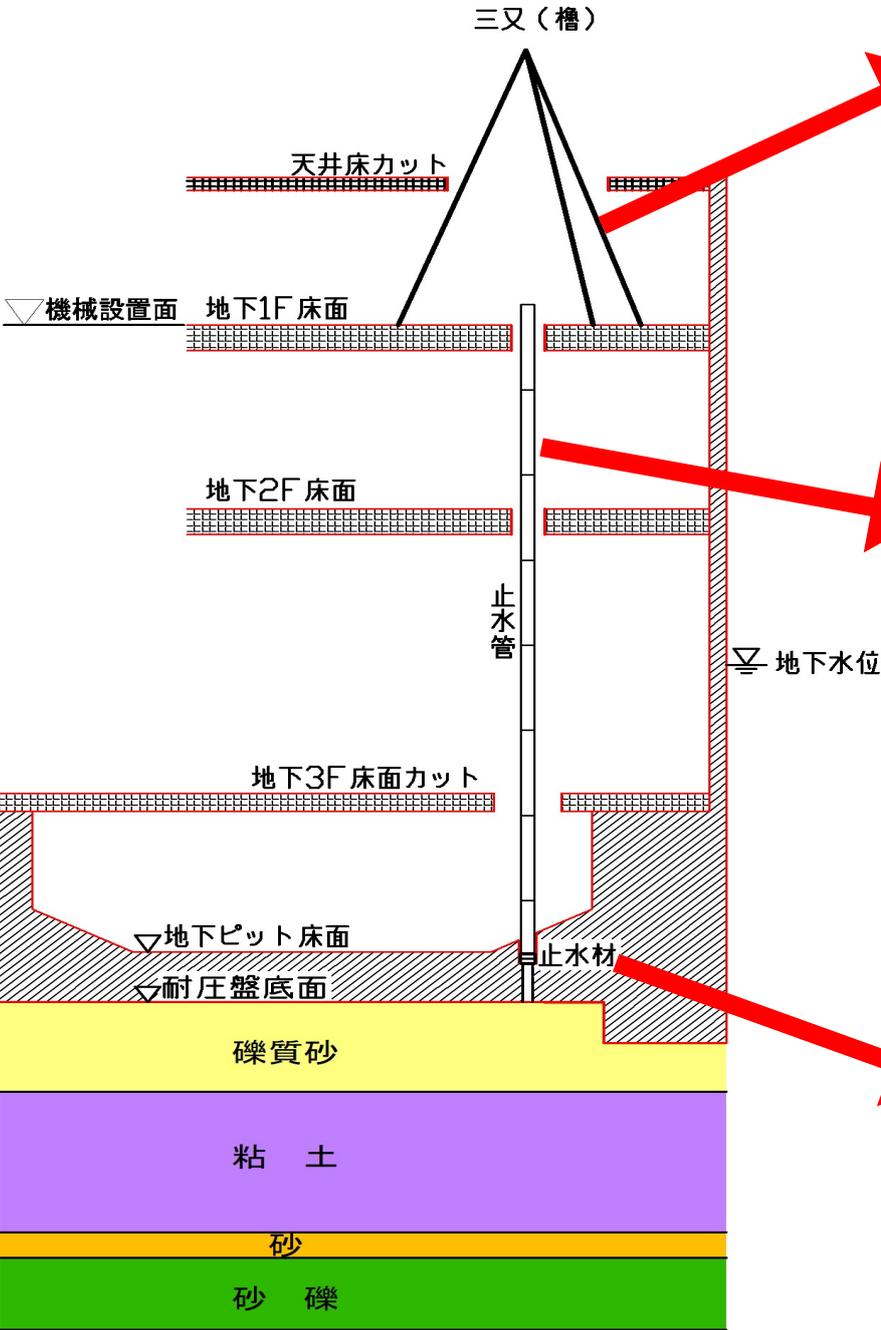
狭小空間作業と止水対策の適用例

《狭小空間作業の要点》

1. 機械設置場所がビルの地下など⇒機械解体搬入が必要
2. 機械設置面と掘削面とに離隔がある
⇒止水管の立上げが必要
3. 密閉空間
⇒排気や換気が必要

《止水対策の要点》

1. 削孔前/削孔中⇒準備を含む止水工が必要
2. 掘進後 ⇒孔口からの湧水対策工が必要



《 止水対策手順 》

手順1	手順2	手順3	手順4	手順5	手順6
コアリング	整地と止水版設置	外管ケーシング立込み	底盤掘削	通常削孔	最終処理
<ul style="list-style-type: none"> ・IF床をφ250でコア抜き 	<ul style="list-style-type: none"> ・BIF床にコンクリートベース敷き均し 	<ul style="list-style-type: none"> ・φ165外ケーシングを下ろし、止水装置にネジ止める 	<ul style="list-style-type: none"> ・BIFの床をφ140のコアチューブで抜く 	<ul style="list-style-type: none"> ・φ116～86で通常のボーリングを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・孔をGBモルタルでグラウトする ・キャップする
<ul style="list-style-type: none"> ・位置を決め、コアカッターでIF床を抜く 	<ul style="list-style-type: none"> ・底面の不陸整生 ・コンクリートベースにフランジを取り付ける為のアンカーを打ち込む ・コンクリートベースとの間にシールゴムをコーキングして貼り、パッキンを咬ませてからフランジをネジ止める 	<ul style="list-style-type: none"> ・注水して漏水の有無を確認 ・漏水あれば補強 	<ul style="list-style-type: none"> ・抜いたコアは回収する 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、原地盤内に内ケーシングφ125～140を挿入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・養生後、最下段のケーシングを残し、上2本は撤去する ・孔口部にセメントを投入する
	<p>(床版破損リスク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底盤が経年劣化によりひび割れていた場合、ボルト設置時に底盤を壊し漏水する可能性あり 				<p>(漏水リスク)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全止水は困難なため、長期的には漏水の可能性あり

☆ お問い合わせ・ご用命は下記まで ☎

社名： 応用ジオテクニカルサービス株式会社

所在地： 〒171-0014

東京都豊島区池袋2丁目54番5号

スナン117ビル 201号室

TEL： 03-5949-3410

FAX： 03-3984-6510

担当： 荒川

Email： oyogts@oyogts.co.jp

URL： <http://www.oyogts.co.jp>

メモ；

